

2020年度の授業について（改訂版）

2021年1月7日 東京福祉専門学校

東京福祉専門学校では、登校型授業とオンライン授業を併用し、学生の皆さんの学習機会を確保してきました。令和3年1月7日に発令された緊急事態宣言では、学校が休業要請の対象から除かれたことを考慮して、今年度の授業は、**登校型授業とオンライン授業を併用する形を継続していきます**。文部科学省の通知「専門学校等における新型コロナウイルス感染症対策の徹底と生徒の学修機会の確保について(周知)」を参考に、**感染症対策を徹底し登校型授業を行っていきます**。

原則、1月～3月までの授業については、各学科のLMS等で既にお伝えしている時間割・授業形態・スケジュール通りとしますが、状況によっては変更をすることもあります。詳細については、各学科より連絡をします。

但し、新型コロナウイルスに関連する様々な事情により登校型授業に参加することができない場合は、今まで通りオンライン授業等での授業参加を認めます。登校ができない場合のオンライン授業の参加方法、形態（リアルタイム・録画視聴型・課題学習型）等は各学科まで確認をしてください。

下記は、5月25日に学校よりお伝えした「登校型授業の開始について」に記載した感染症対策を、1月以降の授業に向けて追記したものです（特に赤字部分）。必ず確認して、一人一人が自覚を持った行動をお願いします。

●緊急事態宣言の発令を受けて、感染症対策の見直し・強化点

飲食時は対面を避け会話はしない



授業終了後 速やかな帰宅の徹底

昼間部学生の
授業以外の教室・実習室
キャリアセンター等**学校施設**
の利用は**18:00まで**とします

感染症対策の強化

常時換気（窓とドア等2箇所の開放）
もしくは、30分に1回以上換気

授業終了後、各自の机上・椅子等の消毒の徹底
（アルコールを含んだ消毒シートを準備予定）

●全ての学生の皆さんに今まで通りお願いする感染症対策

登下校時を含めて マスク着用 必須



各校舎玄関での 検温・体調チェック



手洗い・手指消毒の徹底



実技・演習授業の フェイスシールド着用



休み時間等においても 感染を予防する行動



学校生活以外でも 感染対策に準じた行動



●学校が行う感染症対策

「3密」の回避



- 座席は1机2名がけを避け1つの机に1名がけに
- 1教室の収容定員は通常の半分程度



- キャリアセンター・図書室等共有スペースは座席を半分程度に減らす
- 密になりやすいエレベーターは、原則使用せず階段を使用

手洗い環境の整備・消毒スプレー等の設置



- 玄関・教室入口に消毒スプレー設置
- 授業後、各自の机上・椅子等の消毒徹底**



- ハンドソープ・ペーパータオル・消毒スプレー設置。
ドアノブの定期消毒

飛沫感染の予防・換気の実施

- 授業担当講師・教員のフェイスシールド・マスク着用徹底**
- 学生窓口には透明カーテンを設置
- 常時換気（窓とドア等2箇所の開放）もしくは、30分に1回以上換気（各自温度調節できる服装で登校してください）**

その他



- 感染症予防啓発ポスターの掲示・呼びかけ
- 学校には医務室がありますが、体調不良者の医務室利用は感染症予防の観点から当面見合わせます